

# NEWS

吉村敏男県議会活動報告  
Vol.24

風を通そう!

# 吉村敏男

福岡県議会議員  
〔飯塚市・嘉穂郡(桂川町)選挙区〕

よしもとさんお



△ 原中誠志県議の県政報告会にて(3月8日)



△ 仁戸田元氣県議の県政報告会にて(2月6日)

## 飲酒運転撲滅条例が成立=全国初

二月定例会県議会が2月22日から3月23日までの日程で開催され、2012年度一般会計予算、飲酒運転撲滅条例、2011年度一般会計補正予算など合計99の議案が提案され、すべて原案どおり可決されました。

### 飲酒運転撲滅条例

前号でも報告していましたが飲酒運転撲滅条例は、全国初の罰則付き飲酒運転条例として開会日に上程され、即日可決されました。その内容は県民へのパブリックコメントで出された意見を受け、更に議論を重ね、最終的に次のとおりとなりました。

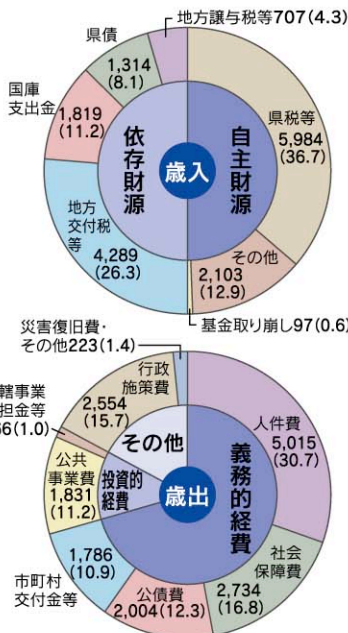
- ①初めて飲酒運転をしたドライバーには医療機関でアルコール依存症検査を受けることを「努力義務」として課す。
- ②一定期間内に再度違反した場合は受診を義務化し、拒否した場合は5万円以下の過料とする。
- ③違反者に酒を提供した飲食店は初回は口頭注意とし、再度、違反者に酒を提供した場合は県公安委員会が指示書を交付する。
- ④その後の立ち入り調査でも改善がみられなければ、店名を公表するとともに指示書の店内掲示を命じ、従わなければ5万円以下の過料とする。
- ⑤飲酒運転が通勤、通学時だった場合は、勤務先や学校に違反を通知する。

本条例は周知期間ののち、10月1日から本格施行されることとなります。

## 過去最高の1兆6,313億円、借金も過去最大

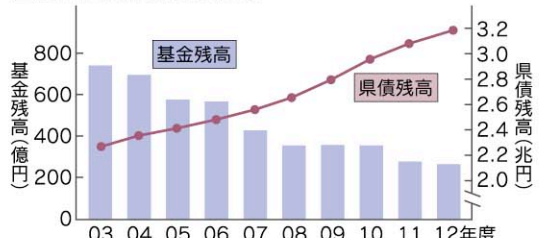
### ■12年度県一般会計当初予算案

(単位は億円。カッコ内は構成比=%)



2012年度一般会計予算は地域経済の活性化や公共事業、防災やエネルギーなどに重点配分し、総額1兆6,313億円となり、過去最高額となりました。積極的な予算編成の一方で借金にあたる県債残高は、過去最大の3兆1,949億円に膨らみ、県民1人あたり約63万円の借金を背負う計算になります。

### ■基金と県債残高の推移



## 二月議会における民主党・県政クラブ議員団の代表質問の骨子は次のとおりです。

- 一、県政推進の基本姿勢について
  - 1.東日本大震災の復興支援
  - 2.小川県政スタートから一年の課題
  - 3.江蘇省との友好交流の促進
  - 4.原子力防災
- 一、「グリーンアジア国際戦略総合特区」の取り組みについて

- 一、再生可能エネルギーの導入促進について
- 一、雇用対策について
- 一、新しい公共について
- 一、その他県政一般について



九州の自立を考える会/平成24年度総会で開会のごあいさつ。昨年9月15日の発足以来、個人・団体の加入は約130となりました。(2月24日)

※詳しくは県議会ホームページでご覧下さい。http://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp

## 2012年度予算には主な事業として

グリーンアジア国際戦略総合特区の関連事業費として、27億3,000万円、中小企業総合対策費41億9,773万円、年代別就職支援センター事業費3億6,332万円、若者や女性が活躍する農業の推進対策費6億384万円、再生可能エネルギー導入関連事業費7億3,888万円、省エネルギー節電促進の関連事業費33億5,705万円、児童虐待防止対策費2億3,230万円、高齢者福祉施設等整備費45億2,600万円が計上されています。その他、わが会派の中村誠治議員が、この間何度か質問した鳥獣被害対策費(被害額2008年度約12億3,000万円、2009年度約13億5,000万円、2010年度約15億7,000万円)として、国庫補助が大幅に増額されたことを受け7億7,322万円(2011年度4億1,394万円)が計上されています。

## 震災ガレキの受け入れを決議

東日本大震災から一年が経過しましたが、現地の復興はガレキの撤去が進まず(全体の約7%程度)、総額約15兆円の復興予算が成立しても、ほとんど進展していません。国は地方に対しガレキの受け入れを求めています(福島県を除く、宮城・岩手両県分約401万トン)、二月定例会議最終日にわが会派が発議し、議長が提案した標記決議を全会一致で可決しました。内容は、①県民の理解を得ることを前提に、②国に対し明確な放射性物質の安全基準を設けるよう呼びかけ、③知事に対し、処理施設を持つ市町村に早急な受け入れを求める。ことなどとなっています。今回、「県議会がガレキの受け入れ決議」と報道された3月11日以降、九州各県で同様の決議がなされることになりました。この動きを全国に広め、被災地の一日も早い復興を実現しなければなりません。

### ▼その内容は▼

- 原子炉施設の増設などの変更や放射性廃棄物の輸送計画については事前報告(佐賀県は事前了解)
  - 原子炉異常時の現地確認(佐賀県は立ち入り調査)
  - 一定基準を超える放射線量を確認した場合の通報(原子力災害対策特別措置法は電力会社に原発立地自治体などへの通報を義務付けている)
  - 平常時、異常時の情報連絡
- となっています。「事前報告」も「事前了解」等もほぼ同じ意味と理解すべき内容です。締結後も実効性のある運用がなされるようしっかり監視していくことが必要です。

## 原子力安全協定ほぼ立地県並みで締結へ

昨年6月の定例会議会での私の代表質問以来、民主党・県政クラブ議員団の最重要課題として、9月議会、12月議会、そして今議会と代表質問で強く実現を求めて来た九州電力と福岡県、福岡市、糸島市との玄海原発安全協定が3月中に締結されることになりました。これまで安全協定は各電力会社と原発立地県や当該自治体との間にしかありませんでしたが、今回の福島原発の事故を受け、わが会派が「原発と隣接している本県も立地県並みの安全協定を結ぶべき」と質問を重ねて来た結果が今回の合意となったものです。

## 宅老所支援費について

県は2012年度当初予算に、新たな福祉政策として「宅老所支援」を盛り込み、1,259万7,000円を計上しました。県として「宅老所」という名称を使うのも初めてとなります。これはわが会派の田辺一城議員が、2011年9月議会の一般質問で、小川洋知事に直接、支援を要請した結果、実現した政策です。宅老所とは、地域の中で民家を活用しながら、デイサービスに「宿泊」機能を備えた事業を行っており、在宅介護を強力にサポートしています。認知症ケアにも有効とされ、超高齢社会を控え、いっそう広がっていくべき介護の形といえます。しかし、これまでは国の制度から

漏れ、都道府県や市町村行政からもサポートを受けられず、事業者は苦しい環境に置かれていました。田辺議員は「分権の時代だからこそ、国の制度がどうあれ、福岡県が独自支援に乗り出すべき」と考え、議場で知事に問題提起。重要性を認識した知事が、予算を計上しました。県は今回、既存の宅老所事業者の防災設備の整備やバリアフリー化に対する助成、今後の「あり方」研究を政策の柱としています。これまで支援が全くなかったことを考えると、「大きな一歩」と言えますが、課題は残っています。宅老所が広がるためには、新規参入を促すような政策や、「夜間の人件費」を補助するといった政策展開も求められます。会派として、引き続き県に支援拡充を求めていきます。

## 飯塚国際車いすテニス大会会場改装 コートの増設、改修に2億7,000万円

2012年度県予算の中で地元飯塚にとって朗報のひとつは「飯塚国際車いすテニス大会」が開催される飯塚市の県営、筑豊緑地に県が2面のハードコートと常設の観客席を新設し、既存の5面のコートも隣のボールが飛び込まないように柵などで仕切るセパレート化を行い、更に駐車場を整備するための予算2億7,000万円が計上されたことだと思います。

飯塚大会は「イイツカ方式」と言われるボランティアによる運営支援が高い評価を受け、国際テニス連盟(ITF)の格付けでは全英オープンなど世界四大大会(グランドスラム)に次ぐスーパーシリーズ(SS、五大会ありアジア・オセアニア地区では飯塚だけ)に認定されています。

しかし、現状はSSの認定基準となる常設の観客席がないばかりか、使用するコートのすべてがオーブ

ンでセパレート化されていませんでした。筑豊緑地に隣接する「筑豊ハイツ」のコートは、管理する飯塚市が今年5月14日～19日の第28回大会に向けセパレート化の工事を終え、大会期間中は仮設スタンドも設置することになっています。

こうした事情と韓国の大邱(テグ)市が観客付きコートでSSの積極的昇格活動を展開していることから、大会関係者は、ここ数年、大きな懸念をかかえておられましたが、これまでの県への熱心な要望活動が実を結び、今回の予算計上となりました。合わせて運営費補助として200万円が計上されています。今年大会には間に合いませんが、来年は新装したコートでの大会となります。私たちも県や市や地元車いすテニス協会と力を合わせ、なんとしてでもSSランクを守る決意です。

### 【筑豊緑地周辺 航空写真】



筑豊緑地 都市計画決定区域

# トピックス

## 筑豊自動車試験場、 嘉穂総合高校跡地に移転

今議会で承認された予算案の中には、筑豊自動車試験場(飯塚市仁保)の嘉穂総合高校跡地(旧嘉穂農業高校-飯塚市鶴三緒、約11万3,000m<sup>2</sup>)への移転に関する費用として、基本設計費や耐震調査費や造成費として7,300万円が計上されています。これは現試験場が昭和42年4月開設と、かなり老朽化しているうえ、手狭(5万8,000m<sup>2</sup>)なためです。旧校舎のまだ使える所は有効活用し平成28年4月に移転する予定です。それに伴い現在雁の巣にある県警のパトカー、白バイなどの訓練場(国有地で年間借地料約5,000万円)が平成25年度から先行して一時的に同跡地に移転し、試験場が移転したあとに現試験場跡を整備し訓練場として使用することになります。これにより建設費約10億円が節約されることとなります。

## 福岡県のホームページに タイ語、ベトナム語を追加

今議会のわが会派の守谷正人議員の「本県と友好親善協定を締結し、かつ福岡空港との直行便があるタイやベトナムについては本県のホームページにそれぞれ母国語で紹介する必要があるのではないか」との一般質問により、2012年度中に両国語が本県のホームページに追加されることになりました。

## 福岡県議会だより(仮称)を発行

県議会の活動内容や考え方などをできるだけ詳しく県民の皆様にお伝えするため、2012年度から年4回の予定で「福岡県議会だより(仮称)」を発行することになり、今回約1億円が計上されています。しっかりした内容をお届けできるよう、会派の意見を紙面に反映させたいと考えています。

## PHOTO 吉村敏男 GRAFFITI

江蘇省人民代表大会、柏蘇寧副主任と会談。▶  
両省県の今後の交流の拡大について意見交換すると同時に福岡県議会として友好桜花園に、つつじ1,600本を贈ることになりました。(2月13日)



▶ 警察常任委員会で宮城県を視察しました。宮城県警には現在福岡県警から21名の志願者が出向し、被災地の復興に汗を流して頑張っています。(2月7日)



▶ 石巻市の被災現場。自治体で最大の3,182人の犠牲者を出した石巻市、ガレキや廃車が天高く積み上げられていました。ガレキを処理しなければ復興は進まないことを改めて実感しました。(2月8日)



▶ 広域行政推進対策調査特別委員会で関西経済連合会を視察し、関西広域連合について意見交換(2月16日)



▶ 広域行政推進対策調査特別委員会で大阪府議会を視察。横倉副議長と「大阪都構想」などについて意見交換(2月17日)



▶ 産成議連・JR議連合同視察。鹿児島県ウィンドファームを視察(2月20日)

## 吉村敏男 事務所

〒820-0082 飯塚市若菜52-1  
Tel.0948(23)1210 Fax.0948(25)6071

## お願い

個人情報保護法が施行され、個人情報の管理が厳しく制限されるようになりました。その結果、事務所として冠婚葬祭における祝電、弔電などが把握できず、大変失礼をいたしております。友人、知人、親族等の冠婚葬祭等がございましたら、ぜひ、御一報くださいますようお願いいたします。